

有限会社 茶工房香肌【松阪市飯高町】

かはだ

- 茶園の集積と栽培・加工・販売の一貫経営により、地域茶業を継承！
- 未来を見据えたGAPの認証取得により、安全・安心な茶生産と環境に優しい農業を実践！

取組地域の概要

飯高町は松阪市最西部の奈良県境に位置し、1,000m級の山々に囲まれた山間地である。

朝晩の寒暖差や日当たりのよい南斜面といった条件が茶に最適で、伊勢茶発祥の地ともいわれている。現在では、苦味が少なくまろやかな味わいが特徴の深蒸し煎茶「香肌茶」の産地として知られている。



香肌茶を楽しめる直売所
「茶工房かはだ」

取組の背景

耕作条件の不利性や獣害等により荒廃茶園が急速に増加する中で、平成15年、茶専業農家3戸により法人経営体「有限会社 茶工房香肌」が設立された。農業の担い手として、地区内の茶園の集積を受け、茶葉の栽培から加工、販売まで一貫して行っている。

取組のポイント

ポイント1 茶園の集積と若者の雇用により、地域茶業を継承

- ・飯高町全域から約35haにわたる茶園の集積を受け、栽培から加工、販売までの一貫経営を行い、地域茶業の継承を図る万全の体制が整っている。
- ・将来の産地を担う人材を育成するため、「農の雇用事業」の活用により、1名の若者を正社員として確保した。栽培・加工技術や経営管理技術の伝承にしっかり取り組んだ結果、事業終了後の継続雇用が図られている。

ポイント2 未来を見据えて、GAPの認証取得により経営を改善

- ・経営改善につなげていくため、早くからJGAPの認証取得に取り組み、安全・安心な茶生産と環境に優しい農業の実践につなげている。
- ・海外への展開もめざし、有機農業の取組もスタートさせている。

ポイント3 小売販売の比率を高めるため、香肌茶や地域の魅力を発信

- ・荒茶の市場価格が低迷する中で、小売販売の比率を高めるため、直売所に喫茶コーナーを設けている。夏のカキ氷や秋冬のぜんざいなど、四季を通じてお茶の魅力を楽しめるメニューを充実させ、多くのファンを獲得している。
- ・地域の四季折々の自然やお祭りの情報などを盛り込んだ「茶畑通信」の発行や、ホームページの更新などにより、顧客への継続的な情報発信に取り組んでいる。



喫茶コーナーでは夏季限定で
緑茶氷を提供

今後の展望

輸出やインバウンド消費を見据え、有機認証の取得や他国語への対応を図る。

多様化するニーズに対応するため、煎茶以外の茶種生産を図る。

◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県松阪農林事務所農政室地域農政課

電話 0598-50-0515